

平成 26 年度 事業報告

評議員会

- ・平成 26 年 6 月 2 日
- ・平成 27 年 2 月 17 日
- ・平成 25 年度事業報告及び収支決算、他
- ・理事の選任

理事会

- ・平成 26 年 5 月 15 日
- ・平成 27 年 2 月 10 日
- ・平成 27 年 2 月 26 日
- ・平成 25 年度事業報告及び収支決算、他
- ・理事長の辞任及び補欠理事の選定に係る評議員会の招集
- ・理事長の選定、平成 26 年度補正予算、平成 27 年度事業計画及び収支予算、他

委員会

① 事業評価・事業企画委員会

- ・平成 27 年 1 月 9 日
- ・平成 26 年度事業評価について
- ・平成 27 年度事業企画について

② 事業運営委員会

- ・平成 27 年 1 月 30 日
- ・平成 26 年度事業中間報告について
- ・平成 27 年度事業計画（案）について

☆ 公益事業

PRODUCT（売れるモノづくり）

プロダクト事業

1 モノづくりプロジェクト

FDCとテキスタイルメーカー等が、新商品開発や販路開拓を目的としたトレンド情報を共有し、参加企業がそれぞれ独自の発想や強みを活かして、アパレルや小売店へ提案できる商品を開発し、市場に発信することを目的とするプロジェクトを推進した。

<国内向け>

- ・参加企業：15 社（秋冬・春夏）
- ・開発生地：秋冬用（H26.11 月東京展 171 点）、春夏用（H27.4 月東京展 166 点）

<海外向け>

- ・参加企業：7 社 1 団体（3 社）（秋冬）、6 社（春夏）
- ・開発生地：秋冬用（H26.9 月ミラノ・ウニカ展 422 点）
春夏用 6 社（H27.2 月ミラノ・ウニカ展 244 点）

(1) トренд情報の活用

トレンド発信企業のネリーロディ社（フランス）のトレンド情報を活用し、各企業に適した企画開発やセミナー等を通じてトレンド情報を提供することで、モノづくりを支援した。

(2) マーケット情報の活用

アパレルマーケティング企業と提携し、セミナー等で最新のマーケット情報をテキスタイル企業に提供し、顧客基点の売れるモノづくりを支援した。

- 2 ジャパン・ヤーン・フェア (JY) の開催
「糸」の展示会を開催することにより、川上企業と川中企業の出会いの場を創出し、素材からの差別化商品の新開発を支援した。
◆会 期：平成 27 年 2 月 4 日 (水) ～6 日 (金)
◇会 場：一宮市総合体育館 DIADORA アリーナ
◇出展者：原糸メーカー及び糸の取扱業者等 50 社
◇来場者：4,566 名
- 3 新資源・新素材の試作・開発・商品化への支援
あいち産業科学技術総合センター尾張繊維技術センターや産地企業等の連携・協働により、新しい素材や加工技術を用いて工夫した新製品の試作開発を支援した。
・自立歩行者及び車いす用のレインコートとブルゾン・デニムパンツを試作
・夏向けウール素材及びイベントシャツを試作
- 4 ファッション・テクノ工房
「柄シミュレーションソフト」を活用し、織物の企画・試作を支援した。

PERSON (人材育成)

- 1 繊維産業人材育成セミナー「尾州インパナ塾」
「尾州インパナ塾」を開講し、関連する大学、あいち産業科学技術総合センター尾張繊維技術センター、FDC 匠ネットワーク等と連携を図り、モノづくりを総合的にコーディネートできる、産地の将来を担う人材を育成した。
◆期 間：平成 26 年 4 月 12 日 (土) ～平成 27 年 2 月 13 日 (金) (延 25 日開講)
◇会 場：FDC ほか
◇受講者：13 名 (正規受講 12 名、部分受講 1 名)
- 2 各種セミナー
(1) ファッショントレンドセミナー(年 2 回)
モノづくりにおける企画開発に活用するために、フランスのトレンド発信企業であるネリーロディ社のファッショントレンド情報を提供。
<内容>
◆期 日：平成 26 年 6 月 13 日 (金)
◇テーマ：「2015/16 秋冬ファッショントレンドセミナー」
◇講 師：(株)ネリーロディ・ジャポン 城山 敦子 氏
◇会 場：FDC
◇参加者：95 名
◆期 日：平成 26 年 11 月 21 日 (金)
◇テーマ：「2016 春夏ファッショントレンドセミナー」
◇講 師：(株)ネリーロディ・ジャポン 城山 敦子 氏
◇会 場：FDC
◇参加者：52 名
(2) マーケットセミナー (年 4 回)
顧客基点で分析する、アパレルのマーケット情報を提供するセミナーを提供。
◆期 日：平成 26 年 5 月 2 日 (木) (参加者：52 名)、7 月 25 日 (金) (65 名)

11月11日(火)(52名)、平成27年2月13日(金)(53名)

◇講師：(株)プレール 代表取締役 栗山 志明 氏

◇会場：FDC

(3) 尾州産地セミナー

◆期 日：平成26年6月23日(月)

◇テーマ：「靴下屋」タビオの経営哲学～Made in Japanにこだわるモノづくり～

◇講師：タビオ(株)代表取締役会長 越智 正直 氏

◇会場：岐阜県毛織工業協同組合 毛織会館

◇参加者：68名

◆期 日：平成27年3月5日(木)

◇テーマ：「2015-2016年秋冬素材傾向の総括&2016年春夏素材傾向」

◇講師：OFICE KURUMA 車 純子 氏

◇会場：岐阜県毛織工業協同組合 毛織会館

◇参加者：102名

(4) 技術セミナー

I. 繊維技術セミナー

◆期 日：平成26年7月4日(金)

◇テーマ：①クールビズに対応したハイブリッド生地の開発

◇講師：尾張繊維技術センター 主任 池上 大輔 氏

◇テーマ：②繊維製品の性能評価(触感をはじめとした快適性能を中心に)

◇講師：神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授 井上 真理 氏

◇テーマ：③機能性色素・染料の紹介とテキスタイルへの展望

◇講師：山田化学工業(株) 商品開発部開発部色材課 課長 古賀 達也 氏

◇会場：FDC

◇参加者：77名

◆期 日：平成27年2月10日(火)

◇テーマ：接着の表面処理とぬれのダイナミックス・制御技術

◇講師：岐阜大学工学部 化学・生命工学科 助教 高橋 紳矢 氏

◇会場：あいち産業科学技術センター尾張繊維技術センター

◇参加者：47名

II. 成果普及講習会

◆期 日：平成27年3月20日(金)

◇基調講演：織物の多層構造と織組織

◇講師：文化ファッション大学院大学

文化ファッションテキスタイル研究所 所長 宮本 英治 氏

◇テーマ：①クールビズに対応した夏用繊維製品の開発

ー接触冷感向上に関する要因解析ー

②ニット製品を高機能化するための技術開発に関する研究

ー3次元設計に対応したニットCADシステムの開発ー

③化学処理による綿の改質技術の開発

ー化学処理による綿の耐久性的光沢付与ー

◇講師：あいち産業科学技術センター尾張繊維技術センター職員

◇会場：あいち産業科学技術センター尾張繊維技術センター

◇参加者：52名

(5) 新規採用者向けセミナー

新入社員を対象とした繊維の基礎を学ぶ技術セミナー

◆期 日：平成 26 年 6 月 19 日（木）

◇テーマ：「素材と糸」「染色と仕上げ」「織物とニット」などの基礎知識
及び施設見学

◇講 師：尾張繊維技術センター職員

◇会 場：FDC、尾張繊維技術センター

◇受講者：44 名

(6) モノづくり応援セミナー

◆期 日：平成 26 年 9 月 25 日（木）

◇テーマ：①「中小企業施策について」

◇講 師：中部経済産業局産業部製造産業課 課長補佐 甲斐 聖也 氏

◇テーマ：②「地域産業販路拡大支援事業について」

◇講 師：愛知県産業労働部産業振興課 主査 藤原 浩史 氏

◇テーマ：③「愛知県の技術支援機関の活用について」

◇講 師：尾張繊維技術センター センター長 大野 博 氏

◇テーマ：④「尾張繊維技術センター設備見学」

◇講 師：尾張繊維技術センター職員

◇会 場：FDC、尾張繊維技術センター

◇受講者：21 名

3 学生のための人材育成

次代を担う若い学生に繊維産業の魅力と興味をつなげ、地場産業の人材の確保を図った。

(1) 翔工房

学生のアイデアを基に、「FDC 匠ネットワーク」の指導技術により、学生自身が糸から生地までの各工程を、それぞれの工場で行い、学生がイメージしたアパレル製品を完成させ、プレゼンテーションを行うことにより、素材の大切さを学び、次代のファッション産業で活躍できる人材を育てた。

◆期 間：平成 26 年 5 月 23 日（金）～平成 27 年 2 月 6 日（金）

◇受講生：23 名（大学院 1 校、大学 5 校、短期大学 1 校、専門学校 7 校）

◇講 師：FDC 匠ネットワーク（15 名）

(2) インターンシップ事業

次代のファッション産業を担う学生を対象に地場産業の魅力进行伝え、地場産業への人材確保を図った。

◆期日及び人数：平成 26 年 8 月 4 日（月）～8 日（金）名古屋学芸大学 3 年生 2 名
平成 27 年 2 月 2 日（月）～6 日（金）名古屋学芸大学 3 年生 10 名

(3) 学生産地研修会

大学生等を対象に紡績、製織、染色整理の工場見学を行い、尾州産地の魅力を伝えた。

◆期 日：平成 26 年 8 月 7 日（木）～8 日（金）

◇受講生：34 名（大学院 2 校、大学 8 校、短期大学 1 校、専門学校 9 校）

PROMOTION (ビジネスチャンスの創出)

プロモーション事業

1 東京展の開催

モノづくりプロジェクト・チームにより、ファッション・ビジネスの中心地である東京市場において商談を目的とした展示会を開催し、販路の開拓、市場ニーズの把握を推進した。

①2015 春夏 Bishu Material Exhibition (第8回)

- ◆会 期：平成 26 年 4 月 22 日 (火) ～24 日 (木)
- ◇会 場：TEPIA 3 階エキシビションホール
- ◇出 展：15 社 (素材 1,350 点、トレンド情報による開発素材 171 点)
- ◇成 果：14,356 点 (サンプル請求)
- ◇来場者：1,566 名

②2015/2016 秋冬 Bishu Material Exhibition (第9回)

- ◆会 期：平成 26 年 11 月 5 日 (水) ～7 日 (金)
- ◇会 場：TEPIA 3 階エキシビションホール
- ◇出 展：15 社、(素材 1,420 点、トレンド情報による開発素材 171 点)
- ◇成 果：16,961 点 (サンプル請求)
- ◇来場者：1,626 名

2 海外展への出展

モノづくりプロジェクト・チームにより、クールジャパン戦略を背景にフランス、イタリアでの有名ブランドへの提案を推進し、尾州発メイド・イン・ジャパンのPRと海外の販路拡大を図った。

◆展示会：19th Milano Unica

- ◇会 期：平成 26 年 9 月 9 日 (火) ～11 日 (木)
- ◇会 場：フィエラ・ミラノ・シティ (イタリア)
- ◇出 展：7 社 1 団体 (10 社：素材 422 点)
- ◇来場者：約 21,800 名 (サンプルリクエスト数 2,452 点)

◆展示会：20th Milano Unika

- ◇会 期：平成 27 年 2 月 4 日 (水) ～6 日 (金)
- ◇会 場：フィエラ・ミラノ・シティ (イタリア)
- ◇出 展：6 社 (素材 244 点)
- ◇来場者：約 18,000 名 (サンプルリクエスト数 879 点)

3 尾州トータルイメージアップ活動

(1) 産地アピールキャンペーン

尾州マークの登録商標の活用により、尾州の認知と存在価値を高め、品質保証やトレーサビリティなど産地全体の取組を推進した。

- ・尾州マークの登録
- ・尾州マークの貸与
- ・ポスターの作成・配布

(2) 総合展「THE 尾州」

「ジャパン・ヤーン・フェア」と同時開催し、FDC 成果作品、JTC 優秀作品、FDC 匠コレクション等を展示し地域の繊維産業について広くアピールした。

- ◆会 期：平成 27 年 2 月 4 (水) ～6 日 (金)
- ◇会 場：一宮市総合体育館 DIADORA アリーナ他
- ◇内 容：FDC 成果発表、繊維関連機器展、尾州産地企業展等
- ◇来場者：6,767 人

(3) 情報発信事業

ホームページや報道発表により、産地の行事や尾州産地について広く内外にアピールした。また、愛知県繊維振興協会会員（業界団体、企業、学校等）向けに、毎月2回WEBマガジン「テキスタイル&ファッション」を発信し、FDC情報、新素材、新技術の紹介、展示会、セミナーの開催案内等の有益な情報の提供を行った。

専門図書やサンプル等を整備し、図書室の充実を図った。

(4) 川下コラボ事業

国内唯一のテキスタイル・コンテスト、JTC（ジャパン・テキスタイル・コンテスト）の事務局として開催を支援し、テキスタイルデザイナーの技術向上を奨励、顕彰し、産地をアピールした。また、産地企業がアパレルデザイナー等と連携し、新商品の開発により製品化し、一般消費者へアピールするとともに、新たなビジネスチャンスを創出した。

<JTC2013 優秀作品展>

一般の部優秀作品 11 点及び学生の部優秀作品 10 点

◆会 期：平成 26 年 4 月 22 日（火）～24 日（木）

◇会 場：TEPIA 3 階エキシビジョンホール「JTC2013 優秀作品展」

◆会 期：平成 26 年 5 月 8 日（木）～14 日（水）

◇会 場：文化服装学院「JTC2013 優秀作品展（学生の部優秀作品含む）」

<JTC2014 応募結果>

募集期間：平成 26 年 10 月 27 日（月）～11 月 14 日（金）

応募者点数（2014 年度）：269 点（一般の部 181 点、学生の部 88 点）

<JTC2014 優秀作品展>

◆会 期：平成 27 年 2 月 4 日（水）～6 日（金）

◇会 場：一宮市総合体育館 DIADORA アリーナ「JTC2014 優秀作品展」

<ビジネスチャンスの創出>

◆期 日：平成 26 年 12 月 10 日（水）

◇参加者：デザイナー 8 名と地元企業 9 社

◇会 場：FDC、産地企業

(5) 産地グループ活動の支援

「FDC 匠ネットワーク」、「尾州産地を考える会」、「トレビーズ大学」へ支援した。

APPEAL（地域の魅力発掘）

アピール事業

1 地場製品の展示・即売

FDC 1 階・常設展示場において、各市町村の地場製品の展示・即売を行う。また、県内外の「イベント会場」に出展し、尾張西部地域の PR を行うとともに製品の販売を行った。

(1) いちのみやリバーサイドフェスティバル

◆期 日：平成 26 年 5 月 3 日（土・祝）～5 日（日・祝）

◇会 場：138 タワーパーク

◇内 容：愛西市、稲沢市、一宮市、犬山市、蟹江町、FDC の地場製品の展示販売。観光パンフレットの配布

(2) 総合展「THE 尾州」会場に地場製品販売コーナーを設置

◆期 日：平成 27 年 2 月 4 日（水）～6 日（金）

- ◇会 場：一宮市総合体育館
- ◇内 容：稲沢市、一宮市、大口町、津島市、FDC の地場製品の展示販売
※特別出展として東北物産コーナーを設け、東北復興支援の一助を図った。

2 繊維製品の常設展示

メンズ及びレディース生地、インテリア織物、意匠撚糸、ニット製品などの産地製品を常設展示し、産地PRと販売促進を図った。

3 地域魅力紹介

ホームページやFDC 出捐市町村のパンフレット等により、地域の魅力や資源を紹介した。

AMUSE (地域とのふれあい)

地域交流事業

1 教室事業

初心者向けカルチャー教室として、モノづくりに関心をもってもらうための教室を、民間で行われている講座とタイアップして開催した。

(1) 手織教室

①前期

- ◆期 日：平成 26 年 6 月 16 日（月）～7 月 4 日（金）（全 5 回）
- ◇内 容：卓上手織機でサマーマフラーを織る
- ◇講 師：「つむぎの会」石原 敏江 氏
- ◇会 場：FDC
- ◇参加者：18 名（初心者対象）

②後期

- ◆期 日：平成 26 年 10 月 20 日（月）～31 日（金）（全 5 回）
- ◇内 容：卓上手織機でウールフラーを織る
- ◇講 師：「つむぎの会」石原 敏江 氏
- ◇会 場：毛織会館/テキスタイルマテリアルセンター（羽島市）
- ◇参加者：15 名（初心者対象）

(2) ファミリー・ミサンガ教室

「愛知発明の日」（8 月 1 日）の関連事業として開催した。

- ◆期 日：平成 26 年 7 月 30 日（水）
- ◇内 容：①ミサンガをつくってみよう
②尾張繊維技術センター及び FDC の見学
- ◇講 師：尾張繊維技術センター及び FDC 職員
- ◇参加者：23 組 46 名（小学生とその保護者）

(3) 出前講座（一宮市生涯学習講座「出前一聴」）

- ◆期 日：平成 26 年 7 月 15 日（火）
- ◇内 容：知っているようで知らない「せんい」のはなしとミサンガ作り
- ◇対 象：「みつひの会」（女性の教養講座）
- ◇会 場：大和公民館
- ◇受講者：11 名

- ◆期 日：平成 26 年 9 月 18 日（木）
- ◇内 容：知っているようで知らない「せんい」のはなし
- ◇対 象：エムズシティー宮大志会
- ◇会 場：エムズシティー宮
- ◇受講者：7 名
- ◆期 日：平成 27 年 2 月 17 日（火）
- ◇内 容：知っているようで知らない「せんい」のはなしとミサンガ作り
- ◇対 象：上林記念病院児童思春期デイケア JOY
- ◇会 場：上林記念病院
- ◇受講者：8 名

☆ 収益事業

貸館事業

- (1) 営業日：年末年始（12 月 28 日～1 月 4 日）の休館日を除く毎日
- (2) 運営経費：光熱水料費、賃借料、委託料、修繕費等